

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 イリソ電子工業株式会社

コード番号 6908 URL <http://www.iriso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 今津 敏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員管理本部長

(氏名) 由木 幾夫

TEL 045-478-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,144	17.2	3,415	36.0	3,433	20.0	2,585	24.2
26年3月期第2四半期	15,480	26.9	2,512	72.0	2,860	122.9	2,082	122.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,882百万円 (46.3%) 26年3月期第2四半期 2,653百万円 (711.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	225.89	—
26年3月期第2四半期	181.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	41,078		33,379		81.1	2,910.11
26年3月期	37,336		29,960		80.2	2,616.15

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 33,308百万円 26年3月期 29,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	9.6	6,700	18.9	6,700	7.5	4,800	9.1	419.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無  
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	12,291,849 株	26年3月期	12,291,849 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	846,151 株	26年3月期	846,151 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	11,445,698 株	26年3月期2Q	11,445,726 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国、中国を中心に緩やかな回復基調が続きました。一方、わが国におきましては、消費税引き上げの影響などから、足下では弱含みに推移しております。

このような事業環境の下、当社グループの販売は、車載市場を初め、コンシューマー市場、インダストリアル市場もともに増収となりました。地域別では、欧州、アメリカ及び中国の各国での販売が増加しました。損益面では、円安の伸展等の外部環境に加え、増収効果や材料費の削減等の原価の低減効果も寄与し、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高は前年同期比17.2%増の181億4千4百万円となりました。営業利益は前年同期比36.0%増の34億1千5百万円、経常利益は同20.0%増の34億3千3百万円、四半期純利益は同24.2%増の25億8千5百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ、37億4千2百万円増加し、410億7千8百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が15億3百万円、受取手形及び売掛金が9億2千7百万円、有形固定資産が11億9千7百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ、3億2千3百万円増加し、76億9千8百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が2億8千4百万円、賞与引当金が1億5千2百万円増加し、未払法人税等が1億6千2百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、34億1千8百万円増加し、333億7千9百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が21億2千1百万円、為替換算調整勘定が12億2千1百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により35億9千8百万円増加し、投資活動により17億3千9百万円減少し、財務活動により5億7千9百万円減少した結果、91億3千7百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益33億5千2百万円、減価償却費13億6千8百万円、売上債権増加額4億2百万円、法人税等の支払額8億6千9百万円等により、前年同期と比べ13億9千5百万円の増加となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、有形固定資産の取得による支出17億7百万円、無形固定資産の取得による支出3千1百万円により、前年同期と比べ6億9百万円の減少となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、株主への配当金の支払4億5千7百万円、短期借入金の純減少額9千3百万円、長期借入金の返済による支出額2千8百万円により、前年同期と比べ5億1千8百万円の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました通期業績予想の修正を行っております。

具体的な内容につきましては、本日(平成26年11月5日)公表の「平成27年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が17百万円減少し、利益剰余金が11百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,634	9,137
受取手形及び売掛金	8,434	9,362
商品及び製品	3,775	3,814
仕掛品	134	49
原材料及び貯蔵品	1,190	1,277
繰延税金資産	364	389
その他	677	813
貸倒引当金	△20	△26
流動資産合計	22,189	24,818
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,770	3,866
減価償却累計額	△1,915	△2,028
建物及び構築物 (純額)	1,854	1,838
機械装置及び運搬具	13,895	15,459
減価償却累計額	△6,945	△7,801
機械装置及び運搬具 (純額)	6,950	7,658
工具、器具及び備品	10,998	11,586
減価償却累計額	△8,096	△8,507
工具、器具及び備品 (純額)	2,901	3,079
土地	827	827
建設仮勘定	1,422	1,749
有形固定資産合計	13,955	15,153
無形固定資産		
ソフトウェア	320	221
その他	83	87
無形固定資産合計	403	308
投資その他の資産		
投資有価証券	330	362
その他	512	491
貸倒引当金	△56	△55
投資その他の資産合計	787	798
固定資産合計	15,146	16,260
資産合計	37,336	41,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,819	3,103
短期借入金	514	416
1年内返済予定の長期借入金	56	56
未払法人税等	614	452
賞与引当金	247	400
その他	2,007	2,174
流動負債合計	6,261	6,604
固定負債		
長期借入金	350	321
役員退職慰労引当金	165	167
退職給付に係る負債	591	597
その他	6	7
固定負債合計	1,113	1,094
負債合計	7,375	7,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,640	5,640
資本剰余金	6,781	6,781
利益剰余金	16,747	18,868
自己株式	△602	△602
株主資本合計	28,566	30,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	30
為替換算調整勘定	1,376	2,597
退職給付に係る調整累計額	△8	△7
その他の包括利益累計額合計	1,376	2,620
少数株主持分	17	71
純資産合計	29,960	33,379
負債純資産合計	37,336	41,078

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	15,480	18,144
売上原価	10,070	11,496
売上総利益	5,410	6,647
販売費及び一般管理費	2,898	3,232
営業利益	2,512	3,415
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	1	1
為替差益	352	13
その他	30	8
営業外収益合計	389	28
営業外費用		
支払利息	11	4
支払補償費	14	0
貯蔵品処分損	6	—
その他	8	4
営業外費用合計	41	10
経常利益	2,860	3,433
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	74	81
固定資産売却損	—	0
その他	—	0
特別損失合計	74	81
税金等調整前四半期純利益	2,786	3,352
法人税、住民税及び事業税	819	726
法人税等調整額	△106	△10
法人税等合計	713	716
少数株主損益調整前四半期純利益	2,072	2,635
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9	50
四半期純利益	2,082	2,585



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,072	2,635
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	20
為替換算調整勘定	577	1,225
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	580	1,247
四半期包括利益	2,653	3,882
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,662	3,828
少数株主に係る四半期包括利益	△8	54

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,786	3,352
減価償却費	1,311	1,368
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32	148
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	26	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	3
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	11	4
為替差損益 (△は益)	87	△54
固定資産除却損	74	81
固定資産売却損益 (△は益)	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△608	△402
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△183	135
仕入債務の増減額 (△は減少)	△356	△26
その他	△312	△143
小計	2,866	4,465
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△10	△4
法人税等の支払額	△659	△869
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,203	3,598
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,125	△1,707
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△14	△31
その他	8	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,130	△1,739
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△836	△93
長期借入金の返済による支出	△33	△28
配当金の支払額	△228	△457
リース債務の返済による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,098	△579
現金及び現金同等物に係る換算差額	123	224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	97	1,503
現金及び現金同等物の期首残高	5,773	7,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,871	9,137

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,382	7,610	2,411	2,076	15,480	—	15,480
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,982	9,042	—	1	18,026	△18,026	—
計	12,364	16,653	2,411	2,077	33,506	△18,026	15,480
セグメント利益 又は損失(△)	1,404	1,549	△129	100	2,925	△413	2,512

(注) 1. セグメント利益又は損失の「調整額」△413百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧州	北米	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,584	8,659	3,230	2,669	18,144	—	18,144
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,589	9,407	5	—	19,002	△19,002	—
計	13,174	18,067	3,236	2,669	37,147	△19,002	18,144
セグメント利益	976	2,609	195	151	3,932	△517	3,415

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△517百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。